

WAJ 官民参加型

地域課題解決アイデアソン in 北海道

帯広市・北見市・富良野市
倶知安町・上川町

5地域で開催!

※参加には事前エントリーが必要です

3泊
4日

10/12(火) → 15(金)

全体テーマ >

北海道からニューノーマルな働き方と
関係人口の創出・拡大を考える
～北海道で「つながる。感じる。生まれる。」～

地域別テーマ > 裏面をご確認ください

最終日に、5地域をWeb接続した意見交換会を開催します

日程

令和3年10月12日(火)～15日(金) 3泊4日

参加

各地域6名程度 (合計30名 6名×5地域)

場所

道内5地域 (帯広市・北見市・富良野市・倶知安町・上川町)

スケジュール

DAY 1	10.12 (火)	→	DAY 2	10.13 (水)	→
● 昼に最寄りの交通拠点に集合			● 視察 ● 意見交換(アイデアソン) ● ワーク ● 交流会		
DAY 3	10.14 (木)	→	DAY 4	10.15 (金)	
● 視察 ● ワーク ● プレゼン準備			● 5地域合同のWeb意見交換会		
● 交流会 ● 意見交換(アイデアソン)			● 昼に最寄りの交通拠点で解散		



※写真は全てイメージです。

当事業の問合せ先

北海道型ワーケーション普及・展開受託事業者
株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
☎ 011-231-3053 FAX.011-231-3143

〒060-8640 北海道札幌市中央区大通西3丁目 北洋ビル6階
営業時間 / 平日9:00～17:30、土・日・祝 休業
担当 / 高松・菅原・佐藤
メール / workation@htri.co.jp

帯広市



十勝・帯広の優位性を活かした 今後取り組むべきワーケーションの方向性について

アイデアソン概要

・帯広市は、農業など一次産業を主要産業とする十勝地方(約34万人)の中心都市です。自然がとても豊かな帯広ですが、「不便な田舎」ということでも、また違います。週末には家族みんなで、自然豊かな郊外でのアウトドアだけでなく、まちなかでショッピングや映画を楽しんだり、自然と都市がコンパクトに程よく調和していて、魅力的で住みやすい街です。

・帯広市では、地元のキャンフィールドを中核とした、自然に囲まれて気持ちよく働く「アウトドア型ワーケーション」と、帯広市中心部のホテルやワークスペースなどを活かし都市部で働き、休日に旅する「都市型ワーケーション」が可能です。

・今回のアイデアソンでは、十勝・帯広市の特徴や優位性を活かし、今後帯広市が強化あるいは取り組むべきワーケーションの方向性について、参加者の皆様と議論します。



北見市



テレワークを活用した首都圏に散らばる オホーツク出身者のUターン推進について

アイデアソン概要

・北見市は、豊かな自然環境や多彩な地域資源に恵まれ、肥沃な大地と豊かな海に生まれた生産量日本一の「たまねぎ」や日本有数の水揚げ量を誇る「ホタテ」をはじめとする農林水産業を基盤にオホーツク地域の産業・経済の中核都市として発展しています。

・北見市では早くから北見工業大学や地元企業との連携推進、企業誘致などを目的にICT関連企業をターゲットにしたテレワークの取組を推進しており、また北見工業大学の「冬季スポーツ科学研究推進センター」では、工学の観点からカーリングなど冬季スポーツの推進に向け最先端の研究活動を行うなど特徴的な取組が進んでいます。

・今回のアイデアソンでは、そうした北見市の取組を首都圏在住のオホーツク出身者に対して、どのような手法で情報発信していくと、テレワークによるUターンを増やすことが出来るのかについて、参加者の皆様と市関係者の間で議論します。



富良野市



富良野のこれからを共創しよう！ 多様な資源 × 多様な視点＝新たなエコシステム

アイデアソン概要

・富良野市は、北海道の中心に位置し、食、ラベンダー、北の国からのロケ地など豊富な観光資源を背景とする国内有数の観光地として知られています。最近では、中国・テンセント社と連携した観光分野向けデジタルエコシステムの導入に取り組んでいます。

・富良野市では本年、少子高齢化や人口減少、環境問題など複雑な社会問題、テクノロジーの急速な発展などを考慮し、市民の声も広く収集・分析しながら、令和3年度～令和12年度を計画期間とする「第6次富良野市総合計画」を策定しました。このなかで、まちづくりの基本アプローチとして「共創」と「デジタル」を掲げています。

・今回のアイデアソンでは、当市の多様な資源と多様な視点を組み合わせながら、新たなエコシステムの共創に向け、参加者の皆様と市関係者の間で議論します。



倶知安町



ポストコロナ時代の観光ニューノーマルとは ～持続可能な観光の推進とインバウンドから選ばれる観光地づくりの達成に向けて～

アイデアソン概要

・ニセコエリアに位置する倶知安町は、2019年10月25～26日に「持続可能な開発目標(SDGs)に対する観光の貢献の最大化」をテーマとしてG20観光大臣会合が開催されるなど、国内有数の大型リゾート地となっています。

・ウィンターシーズンは観光客の中心がインバウンドなこともあり、現在でもアフターコロナを見据えてエリア内の大型開発が進み、インバウンドに選ばれる観光地づくりに向けた開発と地域内の観光の持続可能性との両立が課題となっています。

・今回のアイデアソンでは、現地の開発状況や国内では他に類を見ないインバウンド向けの高質な宿泊施設供給を視察いただきながら、観光担当職員、地域内の宿泊・観光事業者のキーマンとともにポストコロナ時代を見据えた観光ニューノーマルの方向性を議論します。



上川町



通過型観光から滞在型観光へのシフトに向けた方策検討 ～アウトドア × 温泉 × ワーク～

アイデアソン概要

・北海道のほぼ中心に位置する上川町は、日本最大の山岳自然公園「大雪山国立公園」の北方部に位置し、大雪山連峰や北海道有数の温泉街である層雲峡温泉等、恵まれた自然に包まれています。

・平成30年、上川町版DMOである「大雪山ツアーズ株式会社」を設立し、北海道らしさを実感できる大雪山を軸に、登山、トレッキングなどのアクティビティや、歴史ある温泉郷や視界いっぱい広がる高原・ガーデンを生かした多彩で質の高い滞在型観光を目指しています。

・今回のアイデアソンでは、当町の観光・交流施設、酒蔵等を視察いただきながら、通過型観光から滞在型観光へのシフトに向けた方策について議論します。

